

第 38 回 JaCVAM 運営委員会議事概要案

審議期間：令和 7 年 2 月 14 日（金）～2 月 21 日（金）

運営委員：（以下、敬称略）平林容子（委員長）、石井孝司、諫田泰成、北嶋聡、杉山圭一、
高橋暁子、高橋祐次、田中里依、東野正明、豊田武士、本間正充、増村健一、宮坂知幸、
西村次平、足利太可雄

審議事項：免疫毒性試験資料編纂委員長および皮膚感作性試験α-Sens peer review 委員長候補者の承認
の可否

・第 36 回 JaCVAM 運営委員会において免疫毒性試験資料編纂委員会の設置が承認されたが、委員長候補者である川崎医科大学西村泰光先生の承認については、COI 自己申告書を受領後メール審議することとなった。また、皮膚感作性試験α-Sens の peer review は今後の運営委員会で審議されることになるが、それに先立つ対面会議を 3 月に開催することが承認され、委員長候補者である Dr. David Basketter (DABMEB Consultancy Ltd) の承認については COI 自己申告書を受領後メール審議することとなった。

・後日事務局より上記 2 名の COI 自己申告書（パスワード付き）がメールにより運営委員に配布され、2 月 14 日より 21 日までの間メール審議が行われた。

・2 月 21 日までに運営委員全員より、上記 2 名をそれぞれの委員長として承認するとの回答があった。JaCVAM 設置細則では、メール審議においても 3 分の 2 以上の運営委員の賛同をもって運営委員会の決定とする、とされていることから、両審議事項は可決された。

以上

配布資料一覧

- 1) 西村泰光先生の COI 自己申告書
- 2) Dr. David Basketter の COI 自己申告書